

ローダウンリアショックアブソーバー 取扱説明書

製品番号 06-04-0093

適応車種	リード 125 (JF45-100001 ~)
	(JF45-1300001 ~)
	(JK12-1000001 ~)
	(JK12-1100001 ~)
	アドレス 110 (GE47A-100001 ~)
アドレス 125 (DT11A-100001 ~)	
ZOOMER X	

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合やこの取扱説明書に記載されている方法以外で取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせは一切なさないで下さい。部品を破損させる恐れがあります。又、他社製品との組み合わせにより、部品は破損した場合、弊社は一切責任を負いかねます。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

◎取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って頂く事になりますが、サービスマニュアルは基本的な技術や知識を持っている方を対象としていますので、技術や知識をお持ちでない方が作業を行った場合は、正しく組み付け出来ない場合や、部品を破損させる恐れがありますので、十分ご注意下さい。取り付け等の経験の無い方は工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧めします。

◎磨耗や損傷の激しい物は再使用せず、必ず新品の物をご使用下さい。

◎ ZOOMER X に取り付けした場合、取り付け長が 10mm 短い仕様になります。

◎ リード 125 (JF45) に取り付けした場合、取り付け長が 15mm 短い仕様となります。

◎ リード 125 (JK12) に取り付けした場合、取り付け長が 17mm 短い仕様となります。

◎ アドレス 110 (GE47A) に取り付けした場合、取り付け長が 5mm 短い仕様となります。

◎ アドレス 125 (DT11A) に取り付けした場合、取り付け長が 10mm 短い仕様となります。

◎ 不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

～特徴～

○乗車時の足付きを向上させる事が出来、街乗りでの信号待ちやタンデム乗車時の安定性を高めます。

○オイルダンパー式を採用し、減衰力・スプリングレートを見直す事で、路面への追従性を高め、安定した走行を実現します。

○スプリングプリロード : 5 段階調整

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

（部品の脱落の原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温になっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対に置かないで下さい。（火災につながる恐れがあります。）

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

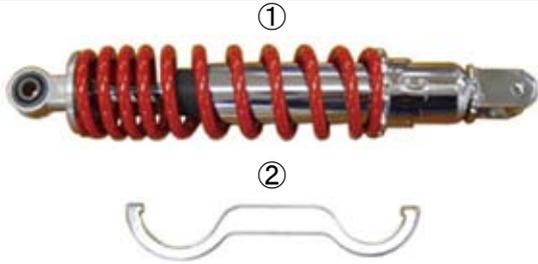
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>



番号	部品名	個数	リペア品番
1	リアショックアブソーバー	1	_____
2	アジャストレンチ	1	08-02-0011 (2ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合があります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

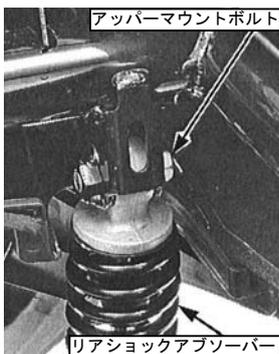
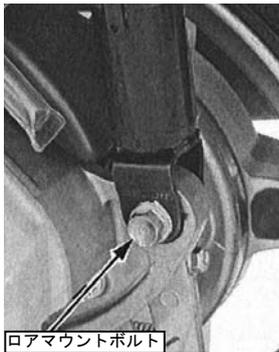
リード 125 の場合

○センタースタンドを使用してリアホイールを浮かせ、リアショックアブソーバーから荷重を抜きます。

○純正サービスマニュアル等を参照して、ラゲッジボックスを取り外します。

※ JK12 の場合、センターカバー・ラゲッジボックス・ラゲッジキャリア・リアロアカバー・ボディカバー・リアフェンダーを取り外します。

○ロアマウントボルト、アッパーマウントボルトを緩め、リアホイールを少し持ち上げて、ボルト、純正リアショックアブソーバーを外します。



○①リアショックアブソーバーを取り付け、アッパーマウントボルト、ロアマウントボルトを取り付け、各ボルトを確実に締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

ロアマウントボルト
トルク：27N・m (2.8kgf・m)
アッパーマウントボルト
トルク：39N・m (4.0kgf・m)

※リアショックを変更した際、シート高が変わりハンドリングが変わる可能性があります。交換直後の運転にはご注意下さい。

※サイドスタンドの傾き角度が若干変わるので、駐車時ご注意下さい。

○逆手順で外装を組み戻します。

アドレス 110/125 の場合

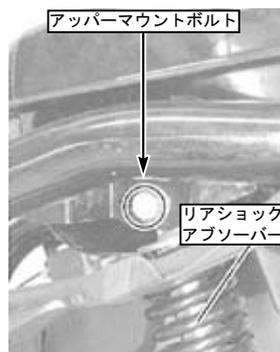
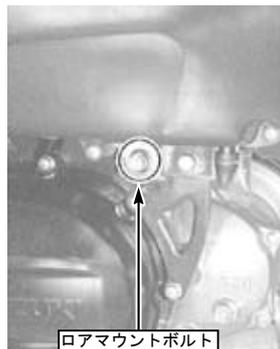
○センタースタンドを使用してリアホイールを浮かせ、リアショックアブソーバーから荷重を抜きます。

○純正サービスマニュアルを参照して、フロントフレームカバー、ヘルメットボックス、ヘルメットボックスカバー、リアキャリア、フレームカバーを取り外します。

アドレス 125 (DT11A) の場合は、フューエルタンクを少し持ち上げるとアッパーマウントボルトが外せます。

※取り外しの際、クリップ外し忘れやツメが折れないように注意して下さい。

○リアホイールを少し持ち上げてロアマウントボルト、アッパーマウントボルト及びリアショックアブソーバーを取り外します。



○①リアショックアブソーバーを取り付け、アッパーマウントボルト、ロアマウントボルトを取り付け、各ボルトを確実に締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

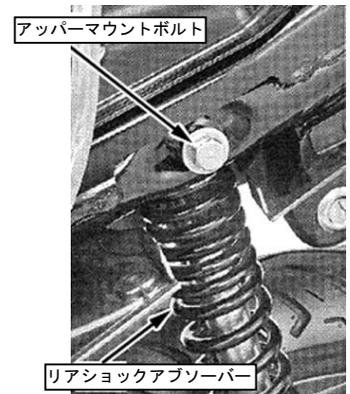
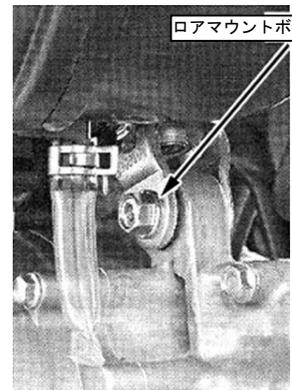
ロアマウントボルト
トルク：26N・m (2.7kgf・m)
アッパーマウントボルト
トルク：32N・m (3.3kgf・m)

○逆手順で外装を組み戻します。

ZOOMER X の場合

○センタースタンドを使用してリアホイールを浮かせ、エンジン下部にジャッキ等をかけリアショックアブソーバーから荷重を抜きます。

○純正サービスマニュアル等を参照して、シート及びサイドカバーを取り外し純正のリアショックアブソーバーを外します。



○①リアショックアブソーバーを取り付け、アッパーマウントボルト、ロアマウントボルトを取り付け、各ボルトを確実に締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

ロアマウントボルト
トルク：27N・m (2.8kgf・m)
アッパーマウントボルト
トルク：59N・m (6.0kgf・m)

※リアショックを変更した際、シート高が変わりハンドリングが変わる可能性があります。

その場合、フロントフォークの突き出し量の調整やローダウンフロントフォークボルトの取り付けにより、改善される可能性があります。

※サイドスタンドの傾き角度が若干変わるので、駐車時ご注意下さい。

○逆手順で外装を組み戻します。